

令和6年度（情報探究） シラバス

教科	情報	科目	情報探究		
単位数	1	学年	3	類型	共通
教科書	本校作成教材		副教材	Python で学ぶプログラミング入門（アシアル情報教育研究所）	
学習目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与するための資質・能力を育成することを目指す。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1学期	第1章 情報社会 第2章 情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報を活用し、自ら評価し改善するとともに、望ましい情報社会の構築に寄与する力を養う。 情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする態度、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
2学期	第3章 プログラミング 第4章 ネットワークの活用	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用し、その過程を評価し改善することができる。 ネットワークの仕組み、目的に応じて使われる情報セキュリティ技術について考察することができる。
3学期	第5章 問題解決	<ul style="list-style-type: none"> データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する。また、目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行い、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考える。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 配列・関数の概念について理解している。 探索・整列のアルゴリズムについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 PC 演習の内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> データの収集、整理及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 課題の状況
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 論理回路に応じてトレースを丁寧に行っている。 データ量の計算について意欲的に取り組んでいる。 コンピュータを構成する装置とその性能やコンピュータの計算を自分で行い、確認している 	<ul style="list-style-type: none"> PC 演習の取り組み状況 課題の取り組み状況 教師による行動観察